

令和8年度 府立洛西高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 確かな学力を身に付けさせるとともに希望進路の実現を図る。</p>	<p>1 新学習指導要領の運用状況については、今後の指導要領改訂を見据えて、R9入学生教育課程に反映することができた。そして、一人一台端末の運用状況については、ノイロノートや採点ナビの活用が進み、授業改善や教育活動の活性化を図ることができた。</p> <p>また、卒業生の進路状況については、国公立大学への進学者割合については目標は達成できなかったが、希望進路の実現について継続的な成果を収めることができた。学校の授業を中心に、最後まであきらめず粘り強く取り組むよう指導を進めることができた。</p> <p>令和7年度は特に総合的な探究の時間の充実や洛再Linksの一層の拡充がなされ、生徒の主体的な学びや探究する姿勢を醸成し、将来の進路実現につなげていける取組として形づくられてきた。令和8年度についても本校の4本柱である学習・学校行事・部活動・洛再Links活動の充実に努めていく。</p>	<p>1 一人ひとりの生徒を大切に、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を推進し、生徒の学習習慣の確立と果敢かつ粘り強い挑戦を支援することで、希望進路を実現させる。国公立大学への合格者数は学年生徒数の1割以上を目指す。また、総合的な探究の時間の充実や洛再Linksの拡充を図り、生徒の自ら学び探究する姿勢を醸成し、将来の進路実現につなげる。</p> <p>(1)ICT活用を一層推進し、一人一台端末による教育活動をさらに充実させる。一方で、生徒が情報リテラシーに関する知識を身につけ、実践力を高める取組を継続する。また、学習指導に当たっては、基礎基本の確実な習得、学習習慣の確立、生徒が主体となって学ぶ授業への創意工夫、教員相互の授業交流を充実させる。</p> <p>(2)生徒の果敢かつ粘り強い挑戦を支援し、希望進路の実現に向けての体制を強化する。高校3年生2月以降の指導を充実させノウハウの継承を目指す。</p> <p>(3)総合的な探究の時間の充実や洛再Linksの拡充を実践し、地域や社会とつながり、自ら課題を発見し他者と協働しながら活動する力を身につけさせ、自らの在り方生き方を考えさせる活動の充実を図る。総合的な探究の時間の構築3年目において、その確立と継続的な改善に努める。</p> <p>(4)学習・学校行事・部活動・洛再Links活動に全力で取り組む学校文化を醸成し、その活動をとおして豊かな人間性を育むとともに、主体的に行動する力を高める。</p> <p>(5)生徒指導が学校教育の土台であることを踏まえ、温かさの中に厳しさのある生徒指導を推進する。基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに健康な生徒の育成を目指す。</p> <p>(6)各分掌、教科の連携のもと、特別な支援が必要な生徒に対する対応を早め、社会的自立に向けて個に応じた支援を進める。</p> <p>2 本校の魅力を発信することにより、地元住民、地域、保護者、中学生等からの信頼を高める。特に、本校に興味を持つ中学生の増加を目指す。ホームページやInstagramでの発信を継続するとともに、新聞やテレビなどの媒体にも本校の活動を取り上げてもらえるよう、広報活動、発信力の一層の強化に努める。また、中学校訪問の機会を活用して、タイムリーな情報を提供する。</p>
<p>2 部活動・自主活動の充実・活性化により、豊かな人間性を育み質の高い集団づくりを行う。</p>	<p>2 洛西フェスティバル等の学校行事は、目的を再度見詰め直し、継続的な改善を図る動きにつなげることができた。特にイオンモール桂川で実施しているオープン文化祭は、多くの地元住民、中学生、保護者に本校の活動を知っていただくよい機会となった。今後も総合的な探究の時間、洛再Links、学校行事、部活動等を一層活性化させ、生徒に在り方生き方をしっかり考えさせ、豊かな人間性を育む取組を充実させていく。</p>	
<p>3 保護者、地域の方々から信頼され、期待される、魅力ある開かれた学校づくりを実現する。</p>	<p>3 今年度の入学者選抜では、収容定員を240名として募集した。中期選抜において、第一志望第一順位の人数は141名となり90パーセントを下回り、第二順位の人数を含めても定員234名で新学年をスタートすることになった。少子化や私学無償化の影響は否めないが、今後も地域・保護者・中学生等からの信頼をさらに高め、本校の教育活動の魅力を広く知ってもらえる取組を維持する必要がある。ホームページやInstagramでの発信を継続的に強化するとともに、新聞やテレビなどの媒体に本校の活動を取り上げてもらえるよう、広報活動、発信力の改善に努める。</p>	

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 各種会議の連携を図り、学校運営を組織的に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 部長会議を中心とし、各種会議にて課題の明確化とその対応を組織的に検討し、実現可能性を高める。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 各種会議での検討内容を全教職員で共有し、共通理解のもと組織的かつ実践的な取組を進める。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者・地域社会からの期待に応え、信頼される学校作りを一層推進し、本校の教育活動についての特色や魅力に関する情報発信を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外で実施する本校の説明会や広報誌、ホームページなどの内容を充実させ、その他のメディアも活用しながら、本校の教育内容や特色、魅力等を積極的かつ効果的に広報する。また、Classiを活用し、日々の高校生活等について生徒や保護者へ適切な情報提供に努める。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 洛再Links活動等の活動を全校的なものとし、地域とのつながりを大切にすることに努める。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の教育環境の充実に向け、適切な予算執行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な学習環境を整えるとともに、施設設備の充実を図る。 生徒の個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い就学支援等の充実を図る。 		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
教務部	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨を踏まえながら、授業を通して、進路保障につながる確かな学力を身につけさせる。 中学生、保護者、地域に「選ばれる学校」となるよう、学校の魅力を伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 低学年次に学習習慣を確立させるとともに基礎基本の定着を大切にした授業実践で学力伸長を図る。 観点別学習状況の評価方法や規準を検証し、一層の授業改善に努める。 他分掌と連携を図り、学校説明会・各種説明会で入学者選抜の新制度に関する情報を的確に提供する。 		
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上に努め、安全意識（交通安全・防犯・防災）の高揚を図る。 落ち着いた学習環境を作り、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を行うとともに地域や社会とつながり、自己を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常における挨拶や正しい言葉づかい、時間の自己管理を指導する。 日々の身だしなみ指導を通じて、TPOに合わせた身だしなみを正しく判断できるよう指導する。 自転車通学者を中心に、登下校時の安全指導を充実させる。 スマホ・タブレット端末の使用のマナー、SNSやインターネットとの関わり方など情報機器の正しい使い方を指導する。 人権学習の内容を充実させ、一人一人の意識を高め人権を尊重できる集団となるように指導する。 部活動や学校行事、特に洛西フェスティバルの取組を通して、主体性や協調性を向上させられるよう指導する。 		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> • 個に応じた指導等により、生徒一人一人の進路を実現する。 • 大学進学に関する具体的目標としては、国公立および難関私大への実合格者80人を目標としつつ、国公立大学、難関私大への合格者数、及び主に創造クラスからの難関・中堅私立大学への合格者数を指標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 校内の各組織と連携しながら、生徒が自ら将来像を描き、よりよい進路選択をしていくように促す。 • 探究クラス、創造クラスともに確かな学力を身につけて希望進路を実現するために、生徒への働きかけを講じるとともに、担任・教科担当への情報提供に努める。 • 生徒が主体的に学ぶ姿勢を身につけるために、高大連携等を活用しながら、様々な刺激を与える。 • 個人面談を通じて一人一人の進路実現への助力を行う。 • 大学入試等の動向について、適切な情報収集と対応を図る。 		
第1学年	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自立した「大人」への第一歩として、きちんとした基本的な生活習慣を身につけ、礼儀や規律を守る態度を育てる。 2. 授業を中心とした学習習慣を確立させ、学力の向上を図る。 3. 生徒が意欲的・主体的に学校生活に臨むなかで、互いを認め合い、高め合える質の高い集団づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒指導部とも連携し、朝の登校指導を中心に時間遵守・挨拶励行の意識を醸成する。 • 身だしなみを整えることを当然として捉え、自ら考えて高校生としてふさわしい行動を取ることができる力を育てる。 • 自転車乗車ルールを守ることや違反・事故を起こさない意義を理解した上で実践するよう指導する。 • 個に応じた指導を行うと視点に立ち、教科担当者と情報共有・連携を取りつつ、日々の学習に対する取組を重視させ、進級を目指して努力するよう指導する。 • 定期考査に向けての計画・反省の取組や模試の振り返り等を通して、自らの進路実現に向けて努力する意識を養うよう指導する。 • 情報リテラシーの向上を図りつつ、一人一台端末による教育活動が適切に行われるよう指導する。 • 日々の働きかけの中で、部活動や学校行事等に前向きに取り組み、互いに切磋琢磨しながら粘り強くやり切るように指導する。 • 生徒が主体的にチャレンジすることで学校生活に充実感を感じられるよう、面談などを効果的に活用し適切なサポートをする。 		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の進路について考えさせ、その実現に向けて学力を伸長させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路行事や総合的な探究の時間、Links活動やHRでの活動を通して、自身の進路について考えさせる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を確立させ、社会性、人間性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 模擬試験の受験を促し、現在の自分の学力と進路実現に必要な学力との差を明確にさせる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 何事にも積極的に取り組み、今しかできない経験をたくさん積ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 模擬試験に向けて過去問題などを用いて学習を促し、学力伸長を図る。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 日常的にコミュニケーションを大切にしながら、時間厳守、挨拶の励行、身だしなみ等あらゆる場面で継続的に指導を行う。 文化祭や研修旅行などで、他者と協力して取り組ませる。 PlusLinksや校外活動への積極的な参加を促す。 		
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 当たり前前を当たり前前に行ける集団を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「報告」「連絡」「相談」を軸に、日常的にコミュニケーションを大切にしながら、時間厳守、挨拶の励行、身だしなみを整える等あらゆる場面で、継続的に指導を行う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活を意欲的に送るなかで、これまでの2年間に築き上げられた関係に基づき、互いを尊重し、高め合える質の高い集団づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSの取り扱いを含め、ルールや校則に縛られず、「相手がどう思うか」「誰かに迷惑をかけていないか」等、「思いやり」をもち、考えて行動する態度を養う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が主体的に卒業後の進路について検討し、その希望進路を実現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校に軸足を置くことができるよう、生徒の小さな変化に目を配る。また、学習機会を設け、学習環境の整備に努め、仲間と共に努力できる集団を目指す。 2年間で培った力を基に、今しかできない、部活動・委員会活動・学校行事に全力で取り組む姿勢を育む。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 進路指導部や総務企画部（Q課）と連携し、的確でタイムリーな情報の提供を行う。面談や日々の声掛け等を通じて、生徒が与えられた情報に対して受け身にならず、主体的に情報を選択、収集するように促し、自己に合った進路目標を決定させる。 進路実現に向けた多様な方法を提示し、生徒の長所や特技を活かした方法を選択できるようにする。学力試験を伴う進路目標をもつ生徒に対しては、積極的な模擬試験の受験を促し、進路実現のために今取り組むべき課題は何かを考え、計画的に学習する力を養う。 		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
保 健	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒一人一人を大切にし、学校経営計画に基づく様々な教育活動を支援する。 • 特別支援教育を充実させる。 • 学習環境を整備し、充実させる。 • 学校保健会議を活用する。 • 感染症防止への対策に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> • 保健管理や保健指導を計画的に実施する。 • 不登校等の未然防止や学校生活を送るうえで支援を必要とする生徒への早期対応を図る。 • 学年部や関連分掌と連携し、兆候を早期に把握し、必要な手立てをとる。 • 特別支援教育の充実に向けて関係機関、各分掌との連携を図る。 • 安全点検や清掃用具等の点検整備を進める。 • 各種検査を活用し、教育活動に係る環境整備を進める。 • 学校医、学校歯科医、学校薬剤師との連携を大切に、学校運営に活かす。 • 手洗いや換気等、感染予防を徹底すると共に、事務部と連携し、消毒等の環境整備に努める。 		
図 書	<ul style="list-style-type: none"> • 学校経営計画に基づく教育計画や教育指導への支援を充実させる。 • 自主的に読書に親しむ生徒を育て、読書を通じて豊かな人間性を育成する。 • 地域・保護者・中学生等に積極的に広報する。また、外部の公的機関等との連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> • 探究型学習、調べ学習、図書館利用学習への直接的支援や援助を行う。 • 図書館とICTを組み合わせた学習活動等を提案・推進し、生徒の主体的な学びと情報活用能力の育成を図る。 • 学校行事や人権学習等の取り組みに積極的に協力し、特別展示などによる啓発活動を行うとともに学校行事に関する資料の記録・保存・管理を行い学級活動等へ提供する。 • 教育的効果を考慮した団体鑑賞を実施する。 • 図書館管理システムを活用して蔵書管理を効果的に行い、教育活動を支える資料提供体制を整える • 図書委員会の活動を活性化させ、魅力ある図書館環境を整えることで、学校全体の読書意欲を高める • 図書館ニュースや新着図書案内、洛西選書等を発行して読書の啓発を図るとともに、コーナー展示や館内イベント等を充実させ、図書館利用の機会を広げる。 • ホームページやSNS等を通じて広報、情報発信を行う。 • 公共図書館と情報交換を行い、読書活動や行事に関する連携を進める。 		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
総務企画	<ul style="list-style-type: none"> 生徒募集に関して、志願者である中学生の減少傾向を踏まえ、本校の教育活動の特色などを、さまざまな機会を活用し、中学生及びその保護者、地域にわかりやすく伝える発信力を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外で実施する本校の説明会を適切な時期に実施し、計画的な広報活動を行う。 広報誌、ホームページ、SNS等の内容を充実させ、本校の教育内容や特色、魅力等を効果的に発信する。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 在校生及びその保護者に適切に情報提供をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを活用し、必要な情報を的確に発信する。 行事などの発信をなるべく早く行う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> P T Aとの関係を深め、信頼される学校作りを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> P T Aとの連携を深め、P T A総会をはじめとする各種委員会の活動や諸行事、P T A広報誌「まほろば」の発行などを通して、P T A会員同士の交流が有意義なものとなるように副校長と共にバックアップする。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 府立高校特色化事業等の取組として総合的な探究の時間や、洛再L i n k s活動等を通して、生徒の社会的科学的視点や、国際的な視点などを養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年部や教科と連携して「総合的な探究の時間」や「グローバルネットワーク京都」の取組を計画的に推進し、年度末の発表に向けて準備を進める。 洛再L i n k s活動を全校的な取組として位置づけ、積極的に推進し、活動を発信する。 生徒の積極的な参加を促す。 		
I C T推進	<ul style="list-style-type: none"> I C Tを活用して日々の校務を効率的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ClassiやTeamsなどの校務支援システムの活用と使用対象の整理を進める。 		
	<ul style="list-style-type: none"> I C Tを活用して授業・学習活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導を効果的に進めるために、ロイロノートなど学習支援アプリの活用方法について交流し、活用を推進する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> I C Tを活用した効果的な実践について共有し、新たな学びのスタイルを模索する。 I C T機器のメンテナンスと更新を進める。 		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
事務	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の個性と能力、可能性を伸ばす教育活動を実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い、修学支援等の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育活動に何が必要かを教職員と連携して検討し、有効で適切な予算の執行を行い、必要な物品等は速やかに購入する。 危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な教育環境を整備するとともに、施設設備の充実を図る。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域の方々から信頼されるよう心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> 多種多様な奨学金制度について本校のホームページを活用し、情報提供を行うとともに、円滑な事務処理を行う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 今年度本庁執行工事で実施が予定される照明LED化改修工事を円滑に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 電話や窓口業務の対応で、保護者や地域の方々から信頼されるように言葉遣い等に留意する。 校内における調整を行い、学校全体の教育活動に支障が出ないように計画していく。 		